



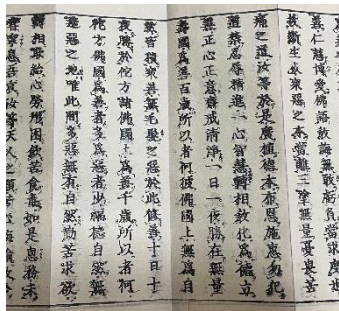
第3号  
発行：大念寺  
小矢部市中央町1-34  
TEL0766(67)1260

# 「お十夜（おじゆうち）」

## 「仏の国で千年の善行いさするより勝る」

お十夜は十月から十一月にかけて行われる行事です。正式には「十日十夜法要」と言います。もともとは旧暦の十月五日夜から十五日の朝まで、十日十夜にわたってお念仏をとなえる法要です（現在では数日か一日で修するお寺が多いようです）

浄土宗の重要な經典の一つ『無量寿経』に「この世で十日十夜の間、善行を修めることは、仏の世界で千年にわた



「無量寿経」の一説

って善行に励むよりもすぐれている」と説かれています。室町時代に京都の真如堂で不断念仏を修したのが起源とされ、これに感動された後土御門天皇の勅許により、鎌倉光明寺で十夜法要がはじまり、全国に広がったのです。ではなぜこの世界での修行が、仏さまの世界で千年間修行する以上の功德があるのでしょうか。その理由について同じく『無量寿経』によれば、仏の世界には修行する仲間が数多くおり、煩惱など妨げとなるものがない修行しやすい環境であるのに対して、この世は煩惱や苦しみに、悪い行いに満ち溢れ、人々はあくせくと日々を送り、一日たりとも心が休まることがない。修行の妨げが多い世界だからということになります。

**十夜法要 11月14日（月）開催**

本年も昨年同様に一夜限り「十夜法要」を開催します。開催に際しましては、換気を十分に行い、間隔を開けてお座りいただきます。

13:30~14:00 十夜法要  
14:10~15:00 法話 阿弥陀寺様 (射水市)



また、十夜法要は阿弥陀さまに感謝の気持ち伝える法要でもあることから、秋の収穫に感謝する意味で、十夜袋に収穫されたお米を入れて仏さまにお供えしたり、新米で作ったおはぎや赤飯などをお供えしたりします。善行とはお念仏に他なりません。お十夜は正に善行を積むチャンスです。お参りの際は、一緒に一心にお念仏を唱えましょう。

# 浄土宗の仏事について ① 「数珠」(じゆず)

念珠とも言いますが、浄土宗の場合は二連のものを使います。ほとんどの宗派は一連のものが多く、よく確かめて正式な二連数珠をお使いください。ではなぜ二連なのか？別名「日課念珠」とも言うように、日々のお勤めの中で念仏の回数を数える数取り器の役割も担っているからなのです。法然上人のお弟子さんで阿波乃介という方が考案されたと伝わっています。一連の数珠は玉の数が煩惱の数と同じく百八個です。日課念珠はその半分の半分、二十七個の一連と大小順番に連なり大玉が二十個のもう一連と成ります。そして房にもヘラベつたい十個と丸い六個の玉がついています。これらを組み合わせて、何と三万二千四百回を片手で数えることができますのです。興味があ



れば、詳しいやり方はお寺でお尋ねください。法然上人は毎日六万、七万回の念仏を唱えられたといわれています。時間に追われる現代ではありますが、時間のある時、日課念珠を使っていつもより、ちよっと多めにお念仏を唱えてみてはいかがでしょうか。



# 「九条兼実」って誰？

くじようかねぎね

## 「鎌倉殿の十三人」にも登場する 「浄土宗」の恩人

終盤をむかえているNHK大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」は、コミカルな部分もありますが、残忍なシーンの多さに驚きます。平安末期から武家が台頭した鎌倉時代の混乱の時期を描いています。

延暦寺や興福寺が武力、権力を持ち庶民の間に末法思想が広がったこの時代に法然上人を始めとした新仏教が起ったのは必然のことだと思います。

五撰家の九条家の祖先になり、今回はココリコの田中直樹さんが演じています（平清盛では相島一之さんが演じていました）。

地味な印象の兼実ですが、関白まで昇りつめていますので、それなりに力は持っていますと思えます。一一九六年に関白を退いた後は、法然上人の元で出家、浄土宗に帰依されました。浄土宗にとっては正に恩人のような人です。

「選択本願念仏集」は兼実の懇願により著されたものと言われています。

ドラマでは北条義時が御家人中の最高位に達したところ、京では興福寺の奏状により念仏は禁断、法然上人は四国に流罪となりました。このピンチの時にも兼実は法然上人を助けます。もともと土佐であった流罪先を兼実の領地である讃岐に変更、加護したのです。その時の上人の年齢は七十五歳でしたが、讃岐のあちこちに布教の足跡を残しておられます。



## お寺 × 睡眠誘導

YouTubeの「公式チャンネル浄土宗」から素敵な動画配信がスタートしました。「お寺×睡眠導入」という実験的な企画です。総本山及び全国に「つある大本山を舞台に順次配信されます。「毎日のおやすみなさいに寄り添う」というテーマで、第一弾は総本山知恩院、現在は第二弾の大本山鎌倉光明寺まで公開されています。

普段見られない知られざる境内の一端を、余すことなく収録しています。草木の揺れる音、鳥たちのさえずり、そして掃除や作務に励む僧侶の姿を、おやすみ前の時間に目で、耳で、直に体感してください。あなたのまどろみ時間を、きつところ穏やかにしてくれると思えます。

## 大念寺の③ 仏さま紹介

ご本尊の脇侍（わきじ）

### 【勢至菩薩】 せいしばさつ

本堂のご本尊阿弥陀さまの右隣（向って左）の脇侍としていらつしやるのが勢至菩薩です。阿弥陀如来の、「智慧」をあらわす化身とされます。同じく脇侍の観音菩薩と比べると地味な印象ですが、智慧の光で、六道に迷う衆生を照らし、地獄道・餓鬼道・

畜生道に落ちないように救ってくれるとされています。実は、法然上人を勢至菩薩の化身とする説が昔からあります。幼名を勢至丸といい、「智慧第一の法然坊」といわれてきたことが、それを物語っています。知恩院には勢至菩薩を安置する「勢至堂」があります。



## 編集後記

今年五月にスタートしてから三号目の発行となりました。お寺の行事として実施したのは昨年同様「お十夜」のみという状況ですが、今年新たに「写経会」を実施することができました。何事も徐々にとり組んでいきます。年末まで予定は以下の通りとなります。

写経会 十一月十九日（土）

十二月十七日（土）

除夜の鐘

十二月三十一日（土）

YouTube  
公式チャンネル  
浄土宗

